

第2回上京区基本計画策定委員会 意見交換会まとめ

日時：平成21年10月7日（水） 午後1時30分～

場所：上京区役所2階会議室

【自治・安全の報告まとめ】

- ・ 部会報告への意見として、実際の部会での議論はもっと斬新な意見があったが、それが伝わってこない。
- ・ 自治と地域力については、既存の取組の維持とより向上をめざす。
- ・ 斬新なもの、夢のある取組などは、これから具体例の中で提案していく。
- ・ 部会の発言の中で、「真空の世代」「学生の参加」などのインパクトのある言葉が出てきたが、これをキーワードとして反映できないか。
- ・ 項目の表記については、目玉となるものをもっと前面に出し、よりインパクトのあるものに。
- ・ 学生への呼びかけは、既存の企画に参加を呼びかけるだけでなく、企画の段階から参加させることが大切。
- ・ 防災訓練についても、高齢者と若年者の中間の世代が参加していない。この真空世代を地域活動に引き込むことが地域力の向上につながる。
- ・ 上京の地形から、自転車利用が多く、事故や迷惑駐車などの課題がある。自転車対策の重要性をメインに持っていくべき。

【福祉・健康の報告まとめ】

- ・ 施策2の「ユニバーサルサービス」を変更してほしい。
- ・ 施策3のリード文に「自治とのつながり」について触れる。
- ・ マンションと自治会のつながりが薄いと、孤立化を招きやすいためマンションを1つの組にしてはどうか。
- ・ 「自治安全」の施策3「新旧のコミュニティ作り」にふくめてはどうか。
- ・ 施策4のリード文2行目「どれを信じて良いかわからない」という表現は改めた方がよい。
- ・ 1つ目の相互→同士に変えてはどうか。
- ・ 2つ目の「住民団体」ではわからないので、「住民団体（民生委員・社協など）」という補足を書いてはどうか。
- ・ 「障害者団体の情報が必要な人に届いていない」ということを触れることはできないか。知りたい情報をどこで得たらいいのかわからないので最初の窓口がわかるといい。
- ・ 施策5の2つ目の市民検診が受けづらいので、簡単に受診できる工夫について盛り込んでほしい。
- ・ 福祉よりもまず健康だから、これを1番目にしてはどうか。

【地域振興の報告まとめ】

- ・ 施策1に住みたいくなるまち上京に「働きたくなるまち上京」を入れてはどうかという意見があった。
- ・ 施策1の「賑わいと暮らしを支える商業の振興」については、もっと強い打ち出しが必要との指摘があり、ネーミングカリード文で調整する。
- ・ 施策2については、地域資源がありすぎてネットワーク化の必要性が指摘された。観光のネットワーク化については、どのようにして図っていくかが検討課題とされた。
- ・ 観光によるまちづくりを進めていく方向性が確認された。

【環境の報告まとめ】

「施策1 事業：ごみ減量による温室効果ガス削減対策の推進」

- ・ 事業所としての取組として、区社協事務局では、新聞紙だけでなく封筒などの雑紙も分別リサイクルすることによりごみ減量に成果をあげている。

「施策2 事業：自動車からの二酸化炭素排出削減」

- ・ この事業名からは、技術的な対策がイメージされ、「公共交通機関の利用促進」などの具体事業例とつながりにくい。「歩くまち 京都」の推進につながる記述が望ましい。

「施策3 発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の推進」

- ・ 具体的事業が分かりにくい。
- ・ フリーマーケットもごみの発生抑制の一例。

「施策3 分別・リサイクル機会の拡大」

- ・ 具体事業例に乾電池の拠点回収もあげてもらいたい。
- ・ 具体事業例に携帯電話などレアメタルの拠点回収もあげる必要がある。
- ・ 春日学区では、元春日小学校で蛍光管の拠点回収を実施している。

「施策3 環境教室・啓発の推進」

- ・ 地域ごみ減量推進会議では、プランターに植えた菜の花の里親になっている。まちなかの緑化にもなるし、タネが油になり、使用後はバイオディーゼル燃料にリサイクルされることを地域の日常会話の中で啓発ができる。
- ・ 女性会は、小学校5年生の環境学習の時間に学校に出向き、子供たちと廃油からの石鹸づくりを実習している。地域で子供を育てることに貢献している。

「施策の組み立てについて」

- ・ 「施策2 自動車に過度に依存しないまちづくりの推進」は、「施策1 家庭、事業所における二酸化炭素排出量の削減」の一分野でもあるし、「施策3 発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の推進」も「施策1 家庭、事業所における二酸化炭素排出量の削減」の一分野でもある。重点施策の打ち出し方に配慮しながら、合理的な施策体系に見直す必要がある。

「その他」

- ・ 上京区には、12の地域ごみ減量推進会議があり、古紙や使用済みてんぷら油の回収の中心になっている。具体的な取組事例の中で紹介すべき。
- ・ 地域ごみ減量推進会議の中には、形だけになっているものもある。